

# 医師・コメディカル統合的人材育成拠点の形成

実施予定期間：平成 21 年度～平成 25 年度  
統括責任者：福田 秀樹（神戸大学）

## I. 概要

兵庫県内の地域医療再生において、医師とコメディカルの円滑なスキルミクスは地域医療の質、安全性向上の一つの解決策である。また機能的なスキルミクスに支えられたチーム医療は災害医療においても重要な役割を果たす。神戸大学を中心として兵庫県等と連携し、機能的なスキルミクスを実現できるエキスパート・コメディカルの育成を目的に災害医療、感染症医療、周産期医療、高齢者医療および、がん医療、の 5 つの領域の育成コースを策定する。県内全域をフィールドとした地域医療人材の総合的育成及び循環システムの構築を通じて、県民の安全・安心を守る地域医療の再生ならびに今後発生が危惧されている南海大地震などに対する災害医療の充実を実現する。

### 1. 地域の現状と地域再生に向けた取組状況

兵庫県は瀬戸内海から日本海までの南北に広がっており、阪神地区を中心とした大都市と中北部、淡路島の過疎地が混在し、医療の偏在化が顕在化している。また一方、阪神、淡路大震災の経験を有する兵庫県は全国的に見ても災害医療先進地域でもあるが、今後その発生が危惧される南海大地震などの大災害に対応できる災害時医療体制の確立、充実が急務である。現在、コメディカル（医療専門職）のスキルミクスが地域医療崩壊を防ぐ解決策として議論されている。さらに機能的なスキルミクスに支えられたチーム医療は災害医療においても重要な役割を果たす。神戸大学と兵庫県では地域医療向上のため医師の相互交流を既に行っているが、コメディカルに対しても機能的スキルミクスを可能とする高度専門教育を包括的に実施する「医師・コメディカル統合的人材育成拠点」を形成し、地域医療の再生ならびに災害医療の充実を図る。

### 2. 地域再生人材創出構想の内容

神戸大学大学院医学研究科を中心として兵庫県等の協力のもと、地域医療に従事するコメディカルが容易に高度専門教育を受けることができる地域再生人材育成拠点の形成を計画する。兵庫県内の地域医療に従事するコメディカルより希望者を募り、災害医療、感染症医療、周産期医療、高齢者医療、がん医療、の 5 つの領域の教育、研修を講義、実習、セミナーの開催を通じて実施し、地域医療および災害医療の現場で機能的スキルミクスを実現できるエキスパート・コメディカルを育成する。本育成プログラムの修了者は、兵庫県内の各地域医療機関において地域・災害医療のリーダーとしての役割を果たすことが期待され、県内全体をフィールドとした循環型の配置・育成システムを構築することができる。

### 3. 自治体との連携・地域再生の観点

現在、神戸大学と兵庫県の間では地域医療再生および災害医療充実のため様々な連携事業を行っている。今回の医師・コメディカル統合的人材育成拠点の形成のプログラム

により、コメディカルが専門性を発揮する機会が増え、機能的なスキルミクスが可能となる。兵庫医療圏における機能的チーム医療の確立は、地域医療再生ならびに今後発生が危惧される南海大地震などに対する災害医療の充実に貢献する。

### 4. 3 年目における具体的な目標

①災害医療②感染症医療③周産期医療④高齢者医療⑤がん医療、の 5 つの専門コースを設け、最初の 1 年をカリキュラム作成および人材育成従事者の整備にあたる。続く 2 年間で各コース 8 名、計 40 名のエキスパート・コメディカルを育成し、兵庫県内の地域医療の活性化ならびに災害医療の充実に貢献する人材として、「兵庫県保健医療計画」の推進に積極的に活用する。

### 5. 実施期間終了時における具体的な目標

3 年目以降、各コース 8 名、計 40 名の人材を育成し、期間合計で計 80 名のエキスパート・コメディカルを育成する。コース修了者は各医療機関における、地域医療再生ならびに災害医療充実の取り組みに対して主導的な役割を発揮し、兵庫県の地域再生計画の中心的な役割を果たす。

### 6. 実施期間終了後の取組

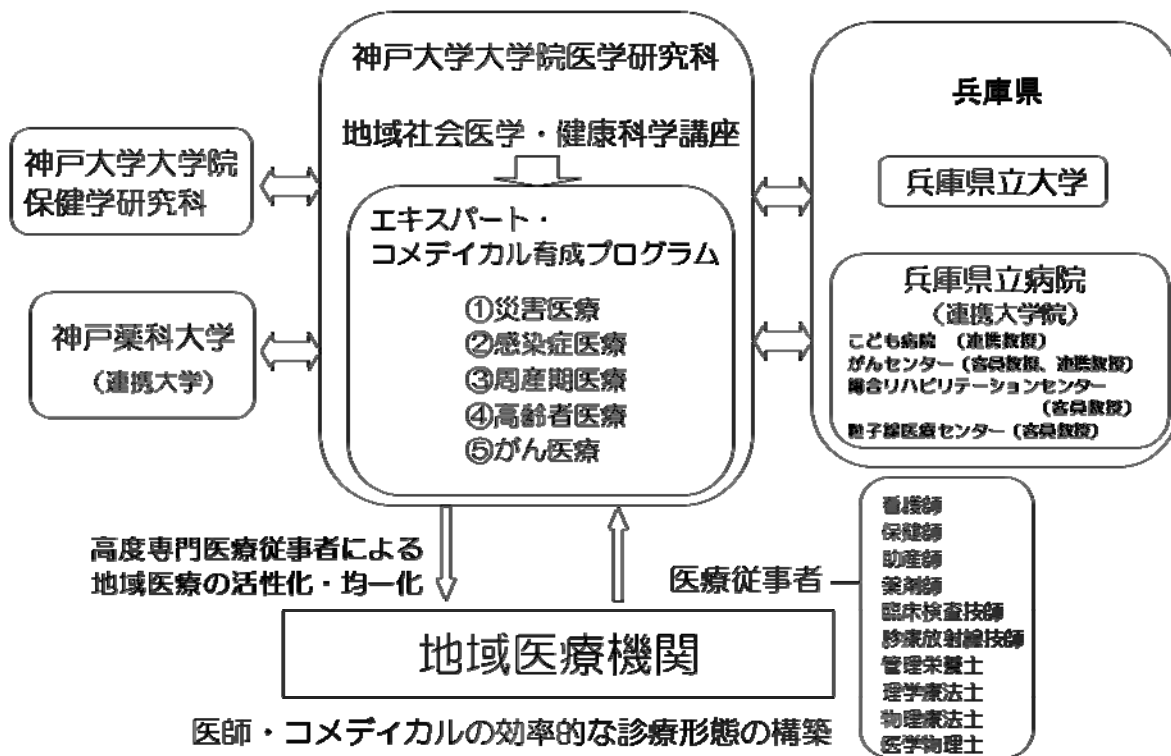
既の実施している神戸大学と兵庫県の地域医療向上のための医師相互連携協力協定とともに、本育成プログラムを通じて医師以外のコメディカルについても相互交流を拡大し、各研修コースは 5 年間の実施期間終了後も存続させ、本育成プログラムと並行して医学研究科の域社会医学・健康科学講座と兵庫県が協力して、本人材育成プログラムの運営を継続する。

### 7. 期待される波及効果

兵庫県内の地域医療格差を是正させることにより、兵庫県全体の医療水準を大幅に向上させることが可能である。さらには本事業により同時に達成される災害医療エキスパート・コメディカルの育成により今後、発生の危惧される南海大地震などの大災害の備えにもなる。本プログラムによる地域医療再生ならびに災害医療の充実を通じて地域社会の活性化、社会資源の充実に寄与することができる。

### 8. システム改革の実現性とその実施体制

神戸大学大学院医学研究科、保健学研究科、および医学部附属病院と兵庫県が連携し、災害医療、感染症医療、周産期医療、高齢者医療および、がん医療、の 5 つの領域に精通したエキスパート・コメディカルの育成を目指す。育成業務には神戸大学大学院医学研究科、保健学研究科、兵庫県立大学、および神戸薬科大学の教員が従事するとともに兵庫県立病院の職員も教育者として協力する。受講するコメディカルを高度な能力を持つ医療人へと育成し、地域医療ならびに災害医療の水準・安全面の向上に積極的に貢献する。兵庫県地域としてリーダー的コメディカルの質、量、医療水準を全国トップレベルに押し上げ、高度な能力を持つ職業人としてのエキスパート・コメディカルを積極的に県内に輩出する。



氏名	所属部局・職名	提案課題における役割
◎福田 秀樹	神戸大学・教授、学長	統括責任者
高井 義実	神戸大学大学院医学研究科・教授、研究科長	実施統括監督者
杉村 和朗	神戸大学大学院医学研究科・教授、病院長	運営管理、講師
○藤澤 正人	神戸大学大学院医学研究科・教授	運営管理、カリキュラムの作成、講師
坂上 元祥	兵庫県立大学大学院環境人間学研究科・教授	カリキュラムの作成、講師・実習指導
太田 光熙	神戸薬科大学薬学部・教授	カリキュラムの作成、講師・実習指導
岩川 精吾	神戸薬科大学薬学部・教授	カリキュラムの作成、講師・実習指導
宇佐美 眞	神戸大学大学院保健学研究科・教授	カリキュラムの作成、講師・実習指導
平井みどり	神戸大学大学院医学研究科・教授	カリキュラムの作成、講師・実習指導
伊藤 智雄	神戸大学大学院医学研究科・教授	カリキュラムの作成、講師・実習指導
伊藤 光宏	神戸大学大学院保健学研究科・教授	カリキュラムの作成、講師・実習指導
熊谷 俊一	神戸大学大学院医学研究科・教授	カリキュラムの作成、講師・実習指導
石井 昇	神戸大学大学院医学研究科・教授	カリキュラムの作成、講師・実習指導
横崎 宏	神戸大学大学院医学研究科・教授	講師・実習指導
岩田健太郎	神戸大学大学院医学研究科・教授	講師・実習指導
前田 盛	兵庫県立がんセンター・病院長	講師・実習指導
西村 善博	神戸大学大学院医学研究科・准教授	講師・実習指導
白川 利朗	神戸大学大学院医学研究科・准教授	講師・実習指導
佐々木良平	神戸大学大学院医学研究科・准教授	講師・実習指導

## 9. 各年度の計画と実績

### a. 平成 21 年度

#### ・計画

人材養成従事者の招集、運営委員会などを通じて実施体制を構築する。養成コースのカリキュラムの作成、テキストなどの教材の作成を行う。平成 22 年度の養成コース参加者の募集、選考を行う。またシンポジウムなどを通じて地域医療機関に対する本プログラムの周知、コメディカル教育

の啓蒙活動を行う。

### b. 平成 22 年度

#### ・計画

養成コースのカリキュラム、テキストなどの更新を行う。災害医療、感染症医療、周産期医療、高齢者医療、がん医療、の 5 つの専門コースで各コース 4 名、計 20 名の教育研修、修了者を各地域医療機関に育成する。平成 23

年度の養成コース参加者の募集、選考を行う。またシンポジウムなどを通じて地域医療機関に対する本プログラムの周知、コメディカル教育の啓蒙活動を行う。

c. 平成 23 年度

・計画

養成コースのカリキュラム、テキストなどの更新を行う。災害医療、感染症医療、周産期医療、高齢者医療、がん医療、の5つの専門コースで各コース4名、計20名の教育研修、修了者を各地域医療機関に育成する。平成24年度の養成コース参加者の募集、選考を行う。またシンポジウムなどを通じて地域医療機関に対する本プログラムの周知、コメディカル教育の啓蒙活動を行う。

d. 平成 24 年度

・計画

養成コースのカリキュラム、テキストなどの更新を行う。

災害医療、感染症医療、周産期医療、高齢者医療、がん医療、の5つの専門コースで各コース4名、計20名の教育研修、修了者を各地域医療機関に育成する。平成25年度の養成コース参加者の募集、選考を行う。またシンポジウムなどを通じて地域医療機関に対する本プログラムの周知、コメディカル教育の啓蒙活動を行う。

e. 平成 25 年度

・計画

養成コースのカリキュラム、テキストなどの更新を行う。災害医療、感染症医療、周産期医療、高齢者医療、がん医療、の5つの専門コースで各コース4名、計20名の教育研修、修了者を各地域医療機関に育成する。来年度以降も人材育成を継続できる実施体制を整備する。

10. 年次計画

項目	1年度目	2年度目	3年度目	4年度目	5年度目
人材養成業務従事 予定者の招聘	↔	↔	↔	↔	↔
養成カリキュラムの 作成	↔	↔	↔	↔	↔
養成対象者の選考	↔	↔	↔	↔	↔
研修		↔	↔	↔	↔
(1) 災害医療		↔	↔	↔	↔
(2) 感染症医療		↔	↔	↔	↔
(3) 周産期医療		↔	↔	↔	↔
(4) 高齢者医療		↔	↔	↔	↔
(5) がん医療		↔	↔	↔	↔
養成目標人数 <在籍者数>	0 < 0 >	20 < 20 >	20 < 20 >	20 < 20 >	20 < 20 >